

丸協にゆーす

- 丸協トピック
 - 『改善コンテスト 優秀賞』
 - 『第5回関西物流展 出展』
- 今、知っておきたい物流topics
 - 『キリンググループの物流戦略が王道をいっていました・・・』

『改善コンテストで優秀賞を受賞』

2月13日、三井倉庫グループ内での改善コンテストが開催され、丸協運輸からは関西ロジスティクスセンター業務課がエントリーし、見事「優秀賞」を受賞致しました。

テーマ：「飛越えろ！Wall of 2024」

チーム名：🌸TRY 2024🌸

として、2024年問題への対応として長距離乗務員の労働時間短縮に向けての取り組みを中心に、改善から効果までをまとめ、発表いたしました。内容としては、積込場所での問題、運行行程の見直し等 荷主様への問題提起～共に改善していき、荷主様も当社もメリットの出る取り組みとなりました。

『第5回関西物流展』出展予定

第5回関西物流展に出展致します。

会期：4月10日（水）～4月12日（金）

会場：インテックス大阪

2024年問題への対策を中心に物流相談窓口として、物流にお困りの荷主様へのアプローチができるような出展内容となります。

（取引先へお渡しする関西物流展の招待券が必要な方は、
本社・経営企画室の坂本まで（tel06-6788-9690）お声掛け下さい。）



今、知っておきたい物流topics

キリングroupの物流戦略が王道をいっていました・・・

キリングroupは2024年問題に対応するため、「輸配送戦略」と「拠点戦略」両軸のもと、「トラック運行数の削減」・「必要トラック台数の確保」・「限られたトラックの有効活用」といった視点で段階的に解決策を実施することを表明しています。荷主が目指す物流の目標として、非常にすっきりとわかりやすいものとなっています。

キリングroupにおいては今後、運送会社やドライバーが働きやすい環境を作り、集車力の強化につなげることを目的に、トラックの運賃改定のほか、様々な取り組みを図るとしています。具体的に公表されているのは下記の事項です。

- トラック運行会社が労働時間規制により追加運行が行えなくなることによる生産性悪化・経営状況悪化を防ぐため、2024年4月よりキリングroup貨物の運賃改定を行う。
- **運賃改定は2020年比で全国平均10.3%の上昇率。**
- 貨物重量ベースとしていた**運賃を車建てに変更**。これにより積載状況の変動を受けず、トラックドライバーの安定的な収入につながる環境を整備。
- 550km以上の長距離輸送についてはモーダルシフトまたは中継によるバウンド輸送に変更。
- 物流拠点においては待機状態の可視化によりさらなる待機時間の削減に取り組む・・・等

上記取り組みについて、とくに注目したいのが「**運賃を車建てに変更**」という点です。「車建て運賃」は、荷主の物流改善への取り組みを推進できるのです。たとえば積載率が上がるよう、配送回数をまとめたとしても、個建運賃では荷主が払う運賃は下がらず、改善の動機がありません。車建て運賃ならば、トラック運行数削減への荷主の努力は支払う運賃を下げることに繋がります。2024年問題の対応のなか、トラック運送事業者にも荷主にもメリットのある、WinWinの方策ということができます。